

工業用洗剤

非引火性でノンハロゲン

高機能と安全性両立

東ソー

東ソーは、工業用洗剤で新たなカテゴリを創出する。ノンハロゲン非引火性洗剤「HAI-1S16」を開発し、販売を開始した。アルコール類の溶剤と水を主成分とし、引火性がないため消防法危険物の適用を受けない。ハロゲン物質を含まないので、環境負荷も低減した。来年には新製品のためのカスタマーサポート施設を新設する。今後は「HAIシリーズ」として展開し、顧客需要などに応じてラインアップを拡大。実績のある高機能炭化水素系の「HCシリーズ」と並ぶ柱に育成し、高機能洗剤市場でシェア拡大を図る。

今月から販売開始

新製品は南陽事業所（山口県周南市）で製造し、10月から国内外で販売を開始した。同社が従来展開してき

た炭化水素系洗剤は、高機能で市場からも支持されてきたが、引火性があるため、消防法危険物に該当するという欠点があ

った。新製品は溶剤と水を主成分に、非引火性を実現。加えて、フッ素や塩素、臭素などハロゲン物質を含まず、高い安全性を確保している。ノンハロゲン非引火性の洗剤は業界初という。

高い洗浄性を誇り、油性から水溶性までの幅広い油分の除去が可能。ノンリンスですすぎが不要であり、乾燥時間も大幅に短縮した。回収性も高く、汚れとの蒸留分離が容易で蒸留回収しながら使用できる利点を持つ。アフターフォローなど

技術サポート体制にも注力。同社は東ソー（東京研究センター（神奈川県横浜市）で、炭化水素系製品等の技術サポート（顧客ニーズに即したシステム提案とアフターケア）を実施してきた。施設が手狭になってきたため、来年中をめぐりセンター内に新シリーズ用のデモンストレーションセンターを新設する考え。将来的には研究員の増員も視野に入れる。

ある、臭素系洗剤の「NFSシリーズ」は環境負荷の少ない洗剤への代替が進んでいることから来年度末の販売終了を決定。今後は炭化水素系と新シリーズの両輪で、対象物の微細化や複雑化が進む高機能洗剤市場でのシェア獲得を図っていく。

THE CHEMICAL DAILY

化学工業日報

2012年(平成24年)  
10月3日 水曜日  
第22441号(日刊、土・日・祝日除く)